

# 人材育成の目標

## Sound mind in a sound body

私の解釈： 健全な責任感とたくましい技術力

### 背景

- 「福島事故は人災」との反省 ⇒ 個人としての技術者／科学者にも責任
- 科学的リスク評価に基づいて、安全を客観的に議論し高める技術力が（経営者のリスクリテラシーを含めて）不足していたのではないか？
- 技術力とは： 原子炉工学（核・熱・構造・材料・・・システム） +  $\alpha$
- +  $\alpha$ とは？
  - リスクリテラシー： リスク評価を理解し使う力（外的事象を含む）
  - 工学リテラシー： 工学技術の重要性・可能性を理解し使う力

# Sound mind in a sound body

をどう育てるか？

卒論・修論指導での発想

- 総合的な事故解析コードの活用（RETRAN、THALES2など）
  - ⇒ 核・熱水力・安全システムの理解
- 安全に係わるテーマの選択
  - ⇒ 自由な発想で課題を探る ⇒ リスクを客観的にとらえる
  - ⇒ 技術的解決策を自分で考える ⇒ 調査,検討の訓練
- 例
  - インターシステムLOCAのリスク低減策
  - 蒸気発生伝熱管の多重破損事故の熱水力解析